

【 授 業 計 画 】

(工業専門課程車体整備科) 令和3年度

No	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験のある教員による授業	内シラバス添付	授業時数
					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任				
1	板金1	車体の整備と検査、不正改造の防止、鋼板の損傷	1 ①	26	○			○		○			○		
2	板金2	板金作業、絞り	1 ②	19	○			○		○			○		
3	板金3	仕上げ作業、防錆、防水、防塵作業	1 ③	15	○			○		○			○		
4	塗装1	塗料の構成、前処理剤、下塗り塗料	1 ①	13	○			○		○			○		
5	塗装2	中塗り塗料、上塗り塗料、塗料の乾燥機構	1 ②	32	○			○		○			○		
6	塗装3	塗膜の欠陥と対策	1 ③	15	○			○		○			○		
7	整備1	車体の種類、モノコックボデー	1 ①	15	○			○		○			○	☆	15
8	整備2	サイド・ボデーの構造、リヤ・ボデーの構造	1 ②	34	○			○		○			○		
9	整備3	車体の外装部品、ぎ装品の構造と機能	1 ③	11	○			○		○			○		
10	材料	金属材料、金属の熱影響、鉄鋼材料、アルミニウム、合成樹脂	1 ①	10	○			○		○			○		
11	損傷診断	乗用車の整備計測、フレーム修正機による整備、車体の損傷診断 可搬式油圧ラムユニット、フレーム修正機、トラックの整備	1 ②	40	○			○		○			○		

【 授 業 計 画 】

(工業専門課程車体整備科) 令和3年度

No	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験のある教員による授業	内シラバス添付	授業時数
					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任				
12	力学	はり、モーメント、自動車の荷重分布状態の計算	1 ③	10	○			○		○			○		
13	構造・機能2	トラックの種類、分類、構造と機能	1 ②	20	○			○		○			○		
14	職場教養	職場においての各種実務	1 ③	20	○			○		○			○		
15	基本板金	板金基本作業（ハンマリング～パテ塗付）について理解する。	1 ①	32				○	○	○			○	☆	32
16	溶接・手仕上げ	溶接作業・板金ハンマの作成（ガンスタンド・パネルスタンド作成）する。	1 ①	39				○	○	○			○	☆	39
17	板金①	板金作業（ハンマリング～プラサフ塗装）について理解する。	1 ①	50				○	○	○			○		
18	塗装①	塗装作業（下地処理～ソリッド・メタリック塗装）を理解する。計量調色が確実にできるようにする。	1 ①	68				○	○	○			○		
19	板金②	実車を用いての板金作業（ぎ装品取り外し～小ダメージ修復～プラサフ塗装）を理解する。引き出し板金についても確実に理解できるようにする。	1 ①	82				○	○	○			○		
20	塗装②	実車を用いての塗装作業（下地処理～微調色～上塗り塗装～磨き～組付け・完成検査）を理解する。微調色・ぼかし塗装についても確実に理解できるようにする。	1 ①	75				○	○	○			○		
21	外板交換	実車による中ダメージ板金作業（溶接パネル交換）について習得する。	1 ②	80				○	○	○			○	○	
22	塗装③	実車による中ダメージ塗装作業（微調色、ぼかし塗装&2パネル塗装）について習得する。	1 ②	95				○	○	○			○	○	

【 授 業 計 画 】

(工業専門課程車体整備科) 令和3年度

No	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験のある教員による授業	内シラバス添付	授業時数
					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任				
23	損傷修復	1. ボデー計測作業及びフレーム修正作業の習得 2. オリジナルデザインによるデザインプレートを作成について習得することを目標とする。	1 ②	90			○	○		○			○		
24	損傷診断	板金見積もりの理論・構成を理解し、損傷車両から指数テーブルを用いた板金見積書を作成することを目標とする。	1 ②	32			○	○		○			○		
25	検査総合	実車による整備・板金塗装総合作業を理解し、スケジュール等のプランを立て、そのプランをもとに作業を実践することができる。	1 ③	137			○	○		○			○		

3 86

修業年限1年 25科目 1060単位時間

実務経験のある教員による授業 3科目86単位時間

必須科目すべての履修完了、すべての試験合格が課程修了の条件。課程修了者に対し卒業認定とする。